

小学校国語科における伝統的な言語文化教育の現状 と課題： 現行の小学校国語科検定済教科書の比較 からわかること

著者	西川 学
雑誌名	研究論集
巻	107
ページ	105-121
発行年	2018-03
URL	http://doi.org/10.18956/00007790

小学校国語科における伝統的な言語文化教育の現状と課題

— 現行の小学校国語科検定済教科書の比較からわかること —

西 川 学

要 旨

平成20年度版学習指導要領が作成された際に、初めて伝統的な言語文化に関する事項が国語科教育の中で新設された。本論文では伝統的な言語文化の授業の現状について小学校国語科検定済教科書を調査・比較することで問題点を明らかにした。その結果、低学年で昔話、中学年で俳句・短歌、高学年で古文・漢文を配置しながら、各社それぞれ少しずつ特徴的な教科書になっていることがわかった。しかし、伝統的な言語文化学習の入門期の小学生には内容的な制約や教科書の紙幅の都合もあり、詳しい内容の教材提供は難しいこともわかった。ゆえに、小学生に伝統的な言語文化のおもしろさや表現を理解してもらうためには、教科書以外の副読本が必要であると考えた。その理由は、伝統的な言語文化の入り口だけではなく、もう少し踏み込んだ内容や本文・表現を小学生に提供し、伝統的な言語文化の世界を認識し、学習の充実をはかることができると考えたからである。

キーワード：小学校国語科教育、伝統的な言語文化、学習指導要領、我が国の言語文化教育、小学校国語科検定済教科書

1、はじめに

平成18年に大きく改正された『教育基本法』の第1章 教育の目的及び理念（教育の目標）第2条には、以下のことが新しく追加され、日本の伝統文化の継承と発展の重要性が次のように述べられている。「5 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」この法令を受けて、平成20年以降に『学習指導要領』が各校種で改訂されていった。特に『小学校学習指導要領解説 国語編』では、「2 国語科改訂の趣旨」において、「○古典の指導については、我が国の言語文化を享受し継承・発展させるため、生涯にわたって古典に親しむ態度を育成する指導を重視する」¹⁾とあり、小学生より日本の伝統文化に親しみ、それを次世代に継承する重要性が新たに追記された。さらに、同書「3 国語科改訂の要点 (5) 伝統的な言語文化に関する指導の重視」においては、

伝統的な言語文化は、創造と継承を繰り返しながら形成されてきた。それらを小学校から取り上げて親しむようにし、我が国の言語文化を継承し、新たな創造へとつないでいくことができるよう内容を構成している。例えば、低学年では昔話や神話・伝承など、中学年では易しい文語調の短歌や俳句、慣用句や故事成語、高学年では古文・漢文などを取り上げている²⁾

とあり、低学年段階から古典分野を国語科の授業で取り上げるようになった。

具体的には、同書第2章 国語科の目標及び内容 第2節 国語科の内容 (4)〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ア 伝統的な言語文化に関する事項 には、

各学年における伝統的な言語文化に関する事項³⁾

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
(ア) 昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりすること。	(ア) 易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること。 (イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。	(ア) 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読すること。 (イ) 古典について解説した文章を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。

と決められ、この事項に則って平成23年度から上記の内容が全国の小学校で本格的に実施されている。また、平成28年8月1日の中央教育審議会の教育課程企画特別部会で出された資料1には、「改訂の基本方針」として以下の内容が示された。

- 教育基本法や学校教育法が目指す普遍的な教育の根幹を踏まえ、グローバル化の進展や人工知能(AI)の飛躍的な進化など、社会の加速度的な変化を受け止め、将来の予測が難しい社会の中でも、伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を子供たち一人一人に確実に育む学校教育の実現⁴⁾

【下線原文ママ】

すなわち、ここでは伝統的な(言語)文化に立脚し、広い視野と志高く未来を創造できる人材を育成することが強調された。さらに、平成28年8月26日に教育課程部会によって公開された「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめについて(報告)」2. 各教科・科目等の内容の見直し (1) 国語 ②具体的な改善事項 ii) 教育内容の改善・充実 イ 教育内容の見直し には、

- 現行の学習指導要領では、国語科においても我が国や郷土が育んできた伝統文化に関する教育を充実したところであるが、引き続き、我が国の言語文化に親しみ、愛情を持って享受し、その担い手として言語文化を継承・発展させる態度を小・中・高等学校を通じて育成するため、伝統文化に関する学習を重視することが必要である。

伝統文化に関する学習については、小・中・高等学校を通じて、古典に親しんだり、楽しんだり、古典の表現を味わったりする観点、古典についての理解を深める観点、古典を自分の生活や生き方に生かす観点、文字文化（書写を含む）についての理解を深める観点から整理を行い、改善を図ることが求められる⁵⁾

とあることから、伝統的な言語文化に関する事項の指導が重視されることは疑いのないことであろう。つまり、我が国の郷土と伝統文化や言語文化に親しむ姿勢を小中高の国語科において育成することを主張しているのである。これらの意見や答申を踏まえ、平成29年3月に公示された次期の学習指導要領でも伝統的な言語文化に関する事項は後述するように継続または強調されている。

以上を踏まえて、本論文では現行の学習指導要領の下で伝統的な言語文化が小学校の国語科教育で如何に授業されているかについて検定済教科書を用いて考察し、その問題点と課題を明らかにしていきたい。

2、伝統的な言語文化に関する指導の現状

では、伝統的な言語文化に関する指導は現状ではどのように行われているのであろうか。先述したように現行の小学校の学習指導要領において初めて本格的に伝統的な言語文化の事項が明文化され、実施されることになった。それに則り、各出版社から小学校の国語教科書が作成され、古典に関する教材がこれまで以上に配置・収録されることになった。

そこで、現行の学習指導要領に基づいて作成され、検定を受けて出版・使用されている小学校国語科の教科書5社6種⁶⁾から「伝統的な言語文化」に関連深い単元や教材について概観し、その特徴や問題点を指摘し、整理して示す。なお、加藤直志⁷⁾に先行研究があるが、

- 1、検定教科書が改訂されていること

- 2、「古典教材」という観点からだけ対象を絞って研究していることが本研究の目的と異なる。

光村図書 『国語』平成28年		
学年	教材	指導領域-内容
1上	おむすびころりん	読むこと-昔話・民話「鼠浄土」。
1下	まのいいりょうし	伝統的な言語文化-読み聞かせ。昔話を聞いて楽しむ。付録に全文あり。
	むかしばなしがいっぱい	読むこと-絵の中から知っている昔話を見つけて友だちと話し合う活動。
	日づけとよう日	国語の特質-1月1日、お正月等の季節の行事の紹介。
	たぬきの糸車	読むこと-物語教材。設定が民話風。
2上	春がいっぱい	伝統的な言語文化-季節の言葉とその季節に関わる詩歌の紹介。
	いなばの白うさぎ	伝統的な言語文化-読み聞かせ。神話を聞いて楽しむ。付録に全文あり。
	夏がいっぱい	伝統的な言語文化-季節の言葉とその季節に関わる詩歌の紹介。
2下	秋がいっぱい	伝統的な言語文化-季節の言葉とその季節に関わる詩歌の紹介。
	冬がいっぱい	伝統的な言語文化-季節の言葉とその季節に関わる詩歌の紹介。
	三まいのおふだ	伝統的な言語文化-読み聞かせ。昔話を聞いて楽しむ。付録に全文あり。
	おにごっこ	読むこと-説明文教材。伝統的な遊びがテーマ。
	ふるく 十二支のはじまり	読むこと、伝統的な言語文化-昔話・民話を読んで登場する動物を考える活動。
3上	春の楽しみ	伝統的な言語文化-季節の言葉とその季節に関わる詩歌の紹介。
	言葉で遊ぼう	読むこと-説明文教材。しりとりや早口言葉、しゃれ等の伝統的な言葉遊びの随筆。
	こまを楽しむ	読むこと-説明文教材。伝統的な遊びのコマがテーマ。
	俳句を楽しもう	伝統的な言語文化-松尾芭蕉・与謝蕪村・小林一茶の俳句をそれぞれ二首、計六首といろは歌を声に出して読む活動。
	たのきゅう	伝統的な言語文化-読み聞かせ。昔話を聞いて楽しむ。付録に全文あり。
	夏の楽しみ	伝統的な言語文化-季節の言葉とその季節に関わる詩歌の紹介。
3下	秋の楽しみ	伝統的な言語文化-季節の言葉とその季節に関わる詩歌の紹介。
	すがたをかえる大豆	読むこと-説明文教材。日本の伝統食の大豆の使われ方がテーマ。
	短歌を楽しもう	伝統的な言語文化-良寛・藤原敏行・猿丸大夫・阿倍仲磨の四首の和歌を声に出して読む活動。
	冬の楽しみ	伝統的な言語文化-季節の言葉とその季節に関わる詩歌の紹介。
	カンジー博士の音訓かるた	国語の特質-漢字の音訓について、かるたを使っての学習。
	ことわざについて調べよう	書くこと-ことわざや故事成語を本で調べて報告する文章を書く活動。
	付録 知ると楽しい「故事成語」	国語の特質-蛇足・五十歩百歩・漁夫の利の故事成語を紹介。
4上	春の風景	伝統的な言語文化-季節の言葉とその季節に関わる詩歌の紹介。
	短歌・俳句に親しもう(一)	伝統的な言語文化-志貴皇子・光孝天皇・素性法師の和歌三首と芭蕉・蕪村・一茶の俳句三首を声に出して読む活動。
	ふるやのもり	伝統的な言語文化-読み聞かせ。昔話を聞いて楽しむ。付録に全文あり。
	夏の風景	伝統的な言語文化-季節の言葉とその季節に関わる詩歌の紹介。
4下	秋の風景	伝統的な言語文化-季節の言葉とその季節に関わる詩歌の紹介。
	短歌・俳句に親しもう(二)	伝統的な言語文化-石川啄木・与謝野晶子・佐佐木信綱の短歌三首と正岡子規・高浜虚子・中村汀女の俳句三首を声に出して読む活動。
	冬の風景	伝統的な言語文化-季節の言葉とその季節に関わる詩歌の紹介。
	付録 百人一首に親しもう	伝統的な言語文化-百人一首すべての紹介と音読の活動。

小学校国語科における伝統的な言語文化教育の現状と課題

5	春の空	伝統的な言語文化－季節の言葉と枕草子・初段「春は…」の紹介。
	古典の世界（一）	伝統的な言語文化－竹取物語・平家物語・徒然草・おくのほそ道の冒頭を声に出して読む活動。
	夏の夜	伝統的な言語文化－季節の言葉と枕草子・初段「夏は…」の紹介。
	日常を十七音で	書くこと－生活で気づいたことや驚きを俳句にして表現する活動。
	秋の夕暮れ	伝統的な言語文化－季節の言葉と枕草子・初段「秋は…」の紹介。
	百年後のふるさとを守る	読むこと－「稲むら火」の浜口儀兵衛の伝記を読んで自分の生き方を考える活動。和歌山県の地域の伝承。
	古典の世界（二）	伝統的な言語文化－論語2編・漢詩「春暁」を声に出して読む活動。
	見るなのざしき	伝統的な言語文化－読み聞かせ。昔話を聞いて楽しむ。付録に全文あり。
	冬の朝	伝統的な言語文化－季節の言葉と枕草子・初段「冬は…」の紹介。
	方言と共通語	国語の特質－コラム。方言分布図を載せる。
	付録 古典に親しもう	伝統的な言語文化－お伽草子「浦島の太郎」の冒頭・伊曾保物語「犬と肉の事」を声に出して読む活動。
6	春のいぶき	伝統的な言語文化－二十四節気の春の言葉の紹介。
	河鹿の屏風	伝統的な言語文化－読み聞かせ。昔話を聞いて楽しむ。付録に全文あり。
	夏のさかり	伝統的な言語文化－二十四節気の夏の言葉の紹介。
	たのしみは	書くこと－言葉を選んで短歌を創る活動。
	秋の深まり	伝統的な言語文化－二十四節気の秋の言葉の紹介。
	『鳥獣戯画』を読む	読むこと－説明文教材。筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめる活動。『鳥獣戯画』や絵巻物がテーマ。
	伝えられてきたもの	読むこと－簡単な文学史の随筆。伝統文化について考える活動。伝統的な言語文化に直接関わる内容。
	狂言 柿山伏	読むこと－狂言の台本。伝統文化について知り、狂言を音読する活動。伝統的な言語文化に直接関わる内容。
	「柿山伏」について	読むこと－狂言師：山本東次郎の解説的随筆。狂言の楽しみ方を広げる活動。伝統的な言語文化に直接関わる内容。
	日本で使う文字	国語の特質－仮名の由来・日本語の表記・ローマ字についての説明。伝統的な言語文化とも関わる内容。
	天地の文	伝統的な言語文化－福沢諭吉の名文を声に出して読む活動。
	春を待つ冬	伝統的な言語文化－二十四節気の冬言葉の紹介。
	かなえられた願い－日本人になること	読むこと－ドナルド＝キーン随筆。日本の言語文化の価値について考えさせる活動。

光村図書の『国語』は、現行の学習指導要領に則して、低学年で昔話・神話、中学年で和歌・短歌・俳句、高学年で古文・漢文を配置する構成内容になっている。特に、各学年で読み聞かせを設定している点がこの教科書の特徴である。また、4年生において付録の部分ではあるが、百人一首を全首載せ、音読を推奨している点も特筆すべきである。さらに、6年生では古文に関連した説明文を併置して、単に古文に親しむというレベルから内容に踏み込んで指導し、生徒に理解させようとする意図を見ることができる。

東京書籍『新編新しい国語』平成28年		
学年	教材	指導領域-内容
1下	むかしばなしをたのしもう	伝統的な言語文化-昔話の読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりして楽しむ活動。
	おはなしをつくろう	書くこと-昔話をもとにして人物と出来事を考え、簡単な物語を書く活動。
	「じゃんけんやさん」をひらこう	話すこと・聞くこと-創作じゃんけんを作り、そのじゃんけんの仕組みを絵や身ぶりを使いながら順序よく説明する活動。
	ふろく じゃんけん	読むこと-説明文教材。題材が「じゃんけん」
	ふろく はなさかじいさん	伝統的な言語文化-読み聞かせ。昔話を聞いて楽しむ活動。
2上	日本語のしらべ-春	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介と言葉遊び(さかさことば)
	ふろしきは、どんなぬの	読むこと-説明文教材。カードと本の文章という二つの文章を読み比べ、それぞれの説明の違いに気づかせる活動。例:「ふろしき」
	日本語のしらべ-夏	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介と言葉遊び(早口ことば)
	言いつたえられているお話を知ろう	伝統的な言語文化-民話「だいだらほう」、神話「やまたのおろち」「いなばの白うさぎ」。神話・伝承の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして、おもしろいと思ったところを発表する活動。
	ふろく いなばの白うさぎ	伝統的な言語文化-神話を読む活動。
2下	日本語のしらべ-秋	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介と言葉遊び。
	かさこじぞう	読むこと-昔話。いろいろな昔話を読み、読んだ昔話のおもしろさを紹介する。
	日本語のしらべ-冬	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介と言葉遊び、行事。
	おばあちゃんに聞いたよ	伝統的な言語文化-十二支・春の七草・小の月・いろは歌。昔から伝わる生活に役立つ言い回しを知り、声に出して読む活動。
	ふろく 日本のお話	伝統的な言語文化-伝承された話を探して読む活動。
3上	日本語のしらべ-春	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介。
	俳句に親しもう	伝統的な言語文化-松尾芭蕉・小林一茶・与謝蕪村等の俳句十三首を声に出して読む活動。
	こまを楽しむ	読むこと-説明文教材。伝統的な遊びのコマがテーマ。
	日本語のしらべ-夏	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介。
	ふろく 日本の俳句	伝統的な言語文化-身近な地域にある句碑や俳句について考える活動。
3下	日本語のしらべ-秋	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介。
	日本語のしらべ-冬	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介と月の呼び方(異名)。
	わらい話を楽しもう	伝統的な言語文化-笑い話「白ねずみ」・「はとが聞くから」。昔から伝わる笑い話を読んで、おもしろかったところが伝わるように音読する活動。
	町について調べてしよう かいしよう	話すこと・聞くこと-町について紹介したいことをグループで調べ、資料を使って分かりやすく説明する活動。地域のことを調べる活動。
	ふろく 日本の笑い話	伝統的な言語文化-一休・吉四六・彦一の笑い話。地域の笑い話を探す活動。
4上	日本語のしらべ-春	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介。
	「ことわざブック」を作ろう	伝統的な言語文化-ことわざや故事成語について知り、意味や使い方を理解して「ことわざブック」を作る活動。

小学校国語科における伝統的な言語文化教育の現状と課題

	日本語のしらべ-夏	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介。
	ふろく 日本のかるた	伝統的な言語文化-地域のかるたの紹介。
4下	日本語のしらべ-秋	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介。
	日本語のしらべ-冬	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介と季節の気候を表す言葉。
	「百人一首」を声に出して読んでみよう	伝統的な言語文化-百人一首の十首を紹介し、音読する活動。
	ふろく 日本の短歌	伝統的な言語文化-地域につながりのある短歌を探す活動。
5	日本語のしらべ-春	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介。
	日本語のしらべ-夏	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介。
	古文を声に出して読んでみよう	伝統的な言語文化-竹取物語・平家物語・おくのほそ道の冒頭を声に出して読む活動。
	日本語のしらべ-秋	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介。
	和の文化を受けつぐ-和菓子をかざる	読むこと-説明文教材。いろいろな本や資料を、目的を意識して読む活動。テーマ：和菓子・和の文化。
	日本語のしらべ-冬	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介。
	五・七・五で表そう	書くこと-言葉を吟味して俳句や短歌を作る活動。
	古文に親しもう	伝統的な言語文化-枕草子・初段。音読し、昔の人の季節に対する感じ方や考え方について、現代の自分たちと比べて文章を書く活動。
	方言と共通語	国語の特質-方言に関するコラム。
6	日本語のしらべ-春	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介。
	日本語のしらべ-夏	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介。
	漢文を読んでみよう	伝統的な言語文化-論語2編・十七条憲法・春暁。漢文の内容の大体を知り、言葉の響きやリズムを味わいながら音読する活動。
	日本の文字に関心を持とう	国語の特質-平仮名と片仮名の由来。
	日本語のしらべ-秋	伝統的な言語文化-季節の詩歌の紹介。
	言葉の由来に関心を持とう	国語の特質-和語・漢語・外来語。
	句会を開こう	書くこと-言葉を吟味して俳句を作り、句会を開いて互いの作品を鑑賞する活動。
	いにしえの言葉に学ぶ	伝統的な言語文化-五人の偉人の言葉。昔の人の言葉を読み、そこに表れている考え方を知って、自分の生き方について考える活動。
	言葉は変わる	国語の特質-時間の経過による言葉の変化、世代による言葉の違いについて考える活動。
	六年間をふり返って書こう	書くこと-表現や構成を工夫して、自分の思いを伝える文章を書く活動。例：三万歳。
	付録 日本の伝統芸能	伝統的な言語文化-能・狂言・人形浄瑠璃・歌舞伎・落語・地方の伝統芸能の紹介。

東京書籍『新編新しい国語』では、全体を通して伝統的な言語文化の中の古典を取り上げるだけでなく、それぞれの学習者の地域の伝承や伝統を掘り起こさせようとする単元が付録に入っている点（2年下「おばあちゃんに聞いたよ」、ふろく「日本のお話」、3年上・ふろく「日

本の俳句」、3年下「町について調べてしょうかいしよう」、ふろく「日本の笑い話」、4年上・ふろく「日本のかるた」、4年下・ふろく「日本の短歌」、6年・付録「日本の伝統芸能」が特徴的である。これらの学習活動は、総合的な学習時間の課題にもなるよう配慮されている（6年生「6年間で振り返って書こう」等）。この教科書は、本論文の1、はじめに で述べたように、地域の伝統文化や郷土の伝承に焦点を当て、それらを取った構成内容になっていると考えられる。

三省堂『小学生の国語』平成28年		
学年	教材	指導領域－内容
1上	おはなしきかせて	話すこと・聞くこと・伝統的な言語文化－昔話・民話等の読み聞かせ。
	にくをくわえたいぬ	読むこと・伝統的な言語文化－物語教材。原話はイソップ童話。
1下	いなばの白ウサギ	読むこと・伝統的な言語文化－昔話（神話）を読む活動。
2	かさこじぞう	読むこと・伝統的な言語文化－昔話（民話）を読む活動。
3	ききみみずきん	読むこと－物語教材。お話を聞く活動。原話は昔話・民話。
	声に出して読もう－俳句	伝統的な言語文化－芭蕉・蕪村・一茶・子規の俳句二首ずつ計八首を音読・暗唱する活動。
	カルタを作ろう	書くこと・伝統的な言語文化－カルタ作りを通して、百人一首・いろは歌・ことわざにふれる創作活動。
	おにたのぼうし	読むこと－物語教材。登場人物の心情理解。節分の夜・鬼の子ども・豆まき・赤飯などの民話・昔話的な内容。
4	落語 じゅげむ	話すこと・聞くこと・伝統的な言語文化－言葉の抑揚や強弱、間の取り方に注意して、分担して落語を読む活動。
	声に出して読もう－短歌	伝統的な言語文化－柿本人麻呂・紀友則・与謝野晶子等の和歌・短歌七首を音読・暗唱する活動。
	故事成語の物語	書くこと・伝統的な言語文化－漁夫の利の故事成語の由来をもとに、物語を書く活動。
5	国語辞典で受けつぐ言葉の文化	国語の特質－慣用句やことわざの学習。
	狂言 しびり	話すこと・聞くこと・伝統的な言語文化－言葉遣いの工夫やおもしろさを意識して、分担して狂言を読む活動。
	雪・土	読むこと・伝統的な言語文化－三好達治の文語詩二編。文語調で書かれた詩を声に出して読む活動。
	漢字辞典で受けつぐ言葉の文化	国語の特質・伝統的な言語文化－故事成語の学習。
	声に出して読もう－外国の詩	伝統的な言語文化－翻訳の文語詩を音読・暗唱する活動。
	句会を楽しむ	書くこと・伝統的な言語文化－俳句を作ったり、読んだりして、表現の効果を確かめる活動。
	言葉の由来	国語の特質－和語・漢語・外来語の学習。

小学校国語科における伝統的な言語文化教育の現状と課題

6	わたしたちの言葉	話すこと・聞くこと－方言と共通語。アクセントの違い。日本言語地図。
	自由な発想で－随筆－	書くこと・伝統的な言語文化－随筆を書くことを通して、枕草子・徒然草にふれる活動。
	「なべ」の国、日本	読むこと－説明文教材。題材：全国の鍋料理、日本人と「なべ」の関係についての説明。
	声に出して読もう－漢文	伝統的な言語文化－論語五編を音読・暗唱する活動。
	短歌を作る	書くこと・伝統的な言語文化－子規・良寛・俵万智の短歌三首を参考に、短歌を作ったり、読んだりして、表現の効果を確かめる活動。
	日本語の歴史	国語の特質－漢字仮名交じり文・万葉仮名・平仮名・片仮名・ローマ字についての学習。
	雪わたり	読むこと－宮沢賢治の物語教材。設定が昔話・民話。

三省堂『小学生の国語 学びを広げる』平成28年（教科書副教材的資料集）		
学年	教材	指導領域－内容
2	読書の森 古屋のもり	伝統的な言語文化－昔話・民話の紹介。
3	読書の森 はってん	伝統的な言語文化－星取り（笑い話）・いろは歌・竹取物語の冒頭と月からの迎えの場面の古文の紹介。
4	読書の森 まんじゅうこわい	伝統的な言語文化－昔話・民話の紹介。
	読書の森 小倉百人一首	伝統的な言語文化－四首の和歌の紹介。
	読書の森 はってん 浦島太郎	伝統的な言語文化－御伽草子「浦島太郎」の冒頭を紹介。
5	読書の森 漢詩	伝統的な言語文化－絶句・春暁の漢詩の紹介。
	読書の森 平家物語	伝統的な言語文化－平家物語の冒頭と解説の紹介。
6	言葉のポケット 四季の言葉	伝統的な言語文化－春夏秋冬の季節の言葉・行事・生活・風習等を紹介。
	読書の森 枕草子	伝統的な言語文化－枕草子「うつくしきもの」段の紹介。
	読書の森 徒然草	伝統的な言語文化－徒然草「八つになりし年」段の紹介。
	読書の森 おくのほそ道	伝統的な言語文化－おくのほそ道・冒頭と四首の俳句、おくのほそ道についての解説の紹介。

三省堂『小学生の国語』は、学習指導要領の指導領域「伝統的な言語文化」と「読むこと、話すこと、聞くこと」とに関連させた単元設定がなされており、他社の教科書と異なり特徴的である。これは、教科の指導者が指導計画や指導案を作成する場合にとっても有効的である。また、2年生から『小学生の国語 学びを広げる』という副教材的資料集があることも特異である。伝統的な言語文化により興味・関心を持った児童・生徒はそれを用いて、自分でも学習することができるようになっている。教材の配置については学習指導要領に則った内容である。

学校図書『みんなと学ぶ小学校国語』平成28年		
学年	教材	指導領域－内容
1上	うみのみずはなぜしょっぱい	読むこと・伝統的な言語文化－昔話を読んで伝統的な日本文化に触れる。
1下	しりょうへん おんちよろちよろ	読むこと・伝統的な言語文化－昔話を読んで伝統的な日本文化に触れる。
2上	ヤマタノオロチ	伝統的な言語文化－神話。昔の物語を楽しみ、日本の伝統文化に関心を持つ。
2下	かさこじぞう	読むこと－昔話。登場人物になって読む。
3上	三まいのおふだ	読むこと・伝統的な言語文化－読み聞かせ。昔話を聞いて楽しむ。「三」のつく物語を友だちと読む。巻末資料に全文と発展学習あり。
	俳句	伝統的な言語文化－芭蕉・一茶等の俳句十二首。言葉のリズムを感じる。
4上	頭にかきの木	読むこと・伝統的な言語文化－読み聞かせ。民話を聞いて楽しむ。巻末資料に全文あり。
	百人一首	伝統的な言語文化－百人一首から二十首。言葉から風景を想像する。音読で短歌のリズムを楽しむ。
4下	ことわざ・故事成語・四字熟語	国語の特質－ことわざ・故事成語・四字熟語。
5上	方言と共通語	国語の特質－コラム。方言分布図を載せる。
	宇治拾遺物語	伝統的な言語文化－「小野篁広才の事」「雀報恩の事」。古典文化に親しむ。
	文語詩 やしの実	伝統的な言語文化－島崎藤村「椰子の実」・柳田国男「海上の道」。古典文化に親しむ。
	わたし風「枕草子」	書くこと－枕草子・初段。自分の経験を生かして随筆を書く。
5下	短歌・俳句を作ろう	書くこと－五・七のリズムで作品を作る。
	日本語の文字の歴史	国語の特質－万葉仮名。
6上	日本語の表記	国語の特質－漢字かな交じり文・万葉仮名。
	狂言 盆山	伝統的な言語文化－古典文化を体験する。
	漢詩	伝統的な言語文化－「故隠君を尋ぬ」。漢詩の朗読・暗唱。
	資料編 伝統芸能に親しもう	伝統的な言語文化－伝統芸能の紹介と狂言「盆山」。

学校図書『みんなと学ぶ小学校国語』は、他の教科書に比べると、伝統的な言語文化に関わる単元設定が少ない。しかし、3年上「三まいのおふだ」では、昔話を聞いて楽しんだ後、「三」のつく物語を友だちと探したり、読んだりする活動があり、発展的学習・調べ学習・グループ学習などの学習活動が期待できておもしろい。また、他教科書の高学年で「古文に親しむ」で扱われる『平家物語』や『おくのほそ道』を扱わず、その代わりに『宇治拾遺物語』の説話を扱っている点は特徴的である。さらに、『枕草子』を伝統的な言語文化の領域ではなく、書くことの領域で扱い、自分の経験から随筆を書くという創作活動の目的で利用しており、この教

小学校国語科における伝統的な言語文化教育の現状と課題

科書が創作活動等の学習者の自立的な学習を中心に意図して編纂された構成になっていることを窺わせる。

教育出版『ひろがる言葉小学国語』平成28年		
学年	教材	指導領域-内容
1上	おはなしのくに	伝統的な言語文化-「かぐやひめ」などの昔話・読書の紹介、図書館の使い方。
	けんかした山	読むこと-物語教材。設定が民話風。
	ふろく かるた	伝統的な言語文化-五十音を覚える方法としてかるたを使う。かるたカードが付属。
1下	天にのぼったおげやさん	伝統的な言語文化-読み聞かせ。昔話を聞いて楽しむ。
	しりとりをしよう	伝統的な言語文化-語末二字のしりとりの方法。伝統的な言葉遊び。
2上	「いろは」をしよう	伝統的な言語文化-「いろは」歌と「とりなく…」の紹介。
3下	かさこじそう	読むこと-物語教材。昔話の音読発表会の活動。
	七草をおぼえよう	伝統的な言語文化-春と秋の七草の紹介。
	いなばのしろうさぎ	伝統的な言語文化-読み聞かせ。神話を聞いて楽しむ。付録に紙人形あり。
3上	俳句に親しむ	伝統的な言語文化-一茶・蕪村・芭蕉等の俳句九首を音読する活動。
	きせつの言葉を集めよう -春・夏-	伝統的な言語文化-季節に関わる詩歌と季節の言葉の紹介。
3下	きせつの言葉を集めよう -秋・冬-	伝統的な言語文化-季節に関わる詩歌と季節の言葉の紹介。
	ことわざ・慣用句	伝統的な言語文化-「さるも木から落ちる」「馬が合う」等のことわざ・慣用句の意味を調べてカードにまとめる。
	町の行事について調べよう	話すこと・聞くこと-地域の行事を調べてクラスで報告会をする活動。例：風揚げ大会。
	おにたのぼうし	読むこと-物語教材。登場人物の心情理解。節分の夜・鬼の子ども・豆まき・赤飯などの民話・昔話的な内容。
4上	短歌の世界	伝統的な言語文化-柿本人麻呂・藤原敏行・藤原定家等の和歌・短歌六首を音読し、鑑賞する活動。
	月のつく言葉	伝統的な言語文化-月の異称の紹介。
	ぞろぞろ(落語)	読むこと-落語を音読し、場面や人物の様子を想像する活動。
4下	もみじ	伝統的な言語文化-「もみじ」に関わる言葉ともみじの詩歌の紹介。
	故事成語	伝統的な言語文化-五十歩百歩・漁夫の利・蛇足等の故事成語の紹介。
5上	漢文に親しむ	伝統的な言語文化-春暁・春夜・静夜思・温故知新・心不在焉の漢文を音読し、ひびきを味わう活動。
	古典の世界(一)	伝統的な言語文化-竹取物語・平家物語・徒然草・おくのほそ道の冒頭を声に出して読む活動。
	方言と共通語	国語の特質-コラム。方言の用例とアクセントの違いについて説明。
	鳥	伝統的な言語文化-鳥に関わる言葉ともみじの詩歌の紹介。

5下	「古典」を楽しむ	伝統的な言語文化－竹取物語・平家物語の冒頭等の古文を読み、感想を書く活動。能・狂言・歌舞伎・浄瑠璃の日本の伝統芸能の紹介。
	俳句・短歌を作ろう	書くこと－言葉を選んで、気持ちや様子を伝える活動。
	雪わたり	読むこと－宮沢賢治の物語教材。設定が昔話・民話。
	折句を作ろう	伝統的な言語文化－折句の技法で短歌を創る活動。
	付録 附子（狂言）	伝統的な言語文化－狂言「附子」の台本を易しく書き改めたものの紹介。
	短歌や俳句を楽しもう	伝統的な言語文化－現代短歌や和歌・俳句・川柳の紹介と創作活動。
6上	春はあけぼの	伝統的な言語文化－枕草子・初段を音読し、自分流の枕草子を創作する活動。
	世代による言葉のちがひ	国語の特質－世代間で異なる語彙の使用の紹介。
	雨	伝統的な言語文化－「雨」に関わる言葉の紹介。
	付録 伝えられてきた作品	伝統的な言語文化－徒然草・おくのほそ道の冒頭、アイヌ神謡集、おもしろそうし等の昔に書かれた文章を紹介。
6下	回文を作ろう	伝統的な言語文化－回文の説明と創作活動。
	言葉は時代とともに	伝統的な言語文化－説明文教材。万葉集の和歌二首・正岡子規の短歌や俳句、『坊っちゃん』の冒頭等を用いながら日本語の変化を考えさせる活動。
	日本語の文字	国語の特質－漢字・万葉仮名・平仮名・片仮名が使われるようになった理由の説明。

教育出版『ひろがる言葉小学国語』では、1年生・2年生の教科書には付録としてカルタや「いなばの白うさぎ」の白ウサギとワニの紙人形が付くなど、学習者の自立的な学習を意識した内容になっている。また、3年生「町の行事について調べよう」で自分たちの住む地域のことを調べる活動が入っているのも特徴的である。さらに、6年上の付録「伝えられてきた作品」では、北海道のアイヌ民族の「アイヌ神謡集」や琉球王朝の公式な歌謡集である「おもしろそうし」を取り上げており、従来の国語教育や日本の古典文学でも重視されてきたとは言えない作品群が教材化されていることが特筆すべき内容である。地域や郷土の伝統文化の継承を意識した教科書構成になっていると言えるのである。

3、まとめ 伝統的な言語文化に関する指導の課題

各出版社の教科書を全て調査した結果、現行の学習指導要領に従い、低学年で昔話、中学年で俳句・短歌、高学年で古文・漢文を配置しながら、それぞれ少しずつ特徴的な教科書になっていることがわかった。収録教材は「枕草子」「徒然草」などが多く、定番教材になりつつあるが、古文に親しむということを目的として音読やリズムを味わうことが学習の中心になっているものが多い。なかには、古文に親しむという段階から内容理解に踏み込んだ教材や単元も設定されていた。しかし、やはり「伝統的な言語文化」学習の入門期の小学生には内容的な制

約や教科書の紙幅の都合もあり、詳しい内容の教材提供は難しいことがわかった。

しかし、『平成25年度全国学力・学習状況調査報告書質問紙調査』によれば、「古典は好きですか」の質問に肯定的に回答した生徒は29.3%⁸⁾であった。また、「平成17年度高等学校教育課程実施状況調査」においても、「古文は好きだ」「漢文は好きだ」の質問に、否定的な回答をした生徒は、古文72.6%、漢文71.2%⁹⁾であった。古典を学習する楽しさや学習する意義を感じさせる指導に課題があることはすでに指摘されていることである。

それゆえ、小学生に「伝統的な言語文化」のおもしろさや楽しさといった内容を理解してもらうためには、教科書以外に副読本で「伝統的な言語文化」の入口だけではなく、もう少し踏み込んだ内容や表現のものを提供し、「伝統的な言語文化」の世界とその表現を理解し、さらなる学習の充実をはかることが必要である。なぜなら、小学生が「伝統的な言語文化」や古典を学習する楽しさや学習する意義を感じ、理解することで我が国と郷土を愛し、他国を尊重し、国際社会に貢献できうる人材を育成することができるからである。そして、我が国の言語文化を享受し継承・発展させるためには、生涯にわたって古典に親しむ態度を育成し、文化の継承と、新たな創造へとつないでいくことができると考えるからである。

なお、副読本の必要性については、以下の2点を根拠とする。

- 1 各出版社の教科書は古文に親しむということを目的として音読やリズムを味わうことが学習の中心になっており、「伝統的な言語文化」入門期の小学生には様々な制約があるため、踏み込んだ学習ができていない現状があること。
- 2 『平成25年度全国学力・学習状況調査報告書質問紙調査』などによれば、古典を学習する楽しさや学習する意義を感じさせる指導に課題があること。

また、現場の小学校の先生方は急激に増えた「伝統的な言語文化」の授業をどのように展開し、児童・生徒に対して何を・どこまで教えていいか当惑していることが予想される。そのように考える理由は、現行の学習指導要領が実施された後、「伝統的な言語文化」の授業案が多数出版されていることからもうかがい知ることができる¹⁰⁾。例えば、『小学校 知っておきたい古典名作ライブラリー32選—豊かな〈伝統的な言語文化〉の授業づくり—』¹¹⁾には、古文の『古事記』から漢文の『五雑組』までの32種類の古典作品が載せられており、教材として使用する際の教材のおもしろさや作品の基礎知識・参考文献・教材化へのねらい・授業展開例等が明示されている。すなわち、小学校の教員が授業でこれを使ってそのまま指導できるような構成になっているのである。ゆえに、小学校の教員は本格的な古典教育が開始されたけれども、古典についてもっと知りたいと感じたり、発展的な古典の単元作りを考えたりしているものと思われる。その支援や助言のためにも副読本制作は大いに意義があることと考える。

4、おわりに

最後に、平成29年3月に公示された次期『小学校学習指導要領』の伝統的な言語文化に関する事項について概観しておきたい。

『小学校学習指導要領解説 国語編』第2章 国語科の目標及び内容 第2節 国語科の内容

(3) 我が国の言語文化に関する事項 ○伝統的な言語文化¹²⁾ には次のような表がある。なお、下線は筆者が現行の学習指導要領との違いを対比させるために付した。

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
<p>ア 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、<u>我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。</u></p> <p>イ <u>長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。</u></p>	<p>ア 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、<u>言葉の響きやリズムに親しむこと。</u></p> <p>イ 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。</p>	<p>ア <u>親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。</u></p> <p>イ 古典について解説した文章を<u>読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。</u></p>

変更点は、現行の学習指導要領の「伝統的な言語文化」の事項は、「我が国の言語文化に関する事項」へと表記が変わったこと、第1学年及び第2学年でイの内容が追記されたことである。けれども、現行の学習指導要領と次期学習指導要領の伝統的な言語文化に関する事項の指導内容差は大きくはない。しかし、注目点が1つある。それは、『小学校学習指導要領解説 国語編』の全学年 (3) 我が国の言語文化に関する事項 ○伝統的な言語文化 に記されるように「地域の伝統文化の学習」¹³⁾ に関わることである。古文や漢文だけではなく、地域の伝統文化や伝承にまで目配りをした学習が望まれているということではないだろうか。すなわち、現行で使われている「伝統的な言語文化」の表記が、「我が国の言語文化」へと改められた所以なのである。それは、次の資料からも理由付けることができる。

「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の制定並びに幼稚園教育要領の全部を改正する告示、小学校学習指導要領の全部を改正する告示及び中学校学習指導要領の全部を改正する告示等の公示について（通知）平成29年3月31日」（5）小・中学校の教育内容の主な改善事項「④ 伝統や文化に関する教育の充実・古典など我が国の言語文化や、県内の主な文化財や年中行事の理解、我が国や郷土の音楽、和楽器、武道、和食や和服などの指導を充実させたこと」¹⁴⁾（下線筆者）とあり、子どもたちにそれぞれの地域の文化財や年中行事を理解させ、郷土の伝統文化に関わる事項の学習を充実させることにある。つまり、それぞれの児童・生徒が

住む地域の伝統文化や伝承に対して興味・関心を持ち、次期継承者としての準備を促すような指導を必要としているのである。その点においては、現行の学習指導要領の「伝統的な言語文化」の指導をさらに一歩推し進め、「我が国の言語文化」の継承と発展を大きく期待する学習内容の改訂となったのである。

今後は次期学習指導要領に基づき平成32年4月から使用される教科書が、どのように具体的に一新され、出版されるかを注視し続けていきたい。そして、これからの日本の伝統的な言語文化教育のあり方についてさらに考察を深めていきたいと考える。

注

- 1) 文部科学省『小学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版社、2008年、3頁。
- 2) 注1) 7～8頁。
- 3) 注1) 24頁。
- 4) 中央教育審議会「次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめ(素案)のポイント」資料1、2016年、1頁。
- 5) 中央教育審議会「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」(第2部)初等中等教育分科会教育課程部会、2016年、120頁。
- 6) 調査した教科書は次の5社6種である。光村図書『国語』平成28年版、東京書籍『新編新しい国語』平成28年版、三省堂『小学生の国語』平成28年版、『小学生の国語 学びを広げる』平成28年版、学校図書『みんなと学ぶ小学校国語』平成28年版、教育出版『ひろがる言葉小学国語』平成28年版。なお、光村図書『国語』平成28年版は、本研究に関して特別に献本していただき、便宜を図っていただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。
- 7) 加藤直志「小学校国語教科書における古典教材：学習指導要領改訂を受けて」『名古屋大学教育学部附属中高等学校紀要』57、2013年、117-124頁。
- 8) 文部科学省・国立教育政策研究所『平成25年度全国学力・学習状況調査報告書質問紙調査』2013年、14頁。
- 9) 国立教育政策研究所「平成17年度高等学校教育課程実施状況調査 II 質問紙調査集計結果 2 国語総合」、2007年、137頁。
- 10) 難波博孝・東広島市立立原小学校『表現力・思考力も身に付く伝統的な言語文化の授業づくり(国語科・授業改革双書No.7)』明治図書、2009年。大熊 徹・藤田慶三『小学校国語『伝統的な言語文化』の授業ガイドーワークシート付き26の単元プラン』東洋館出版社、2009年。加藤郁夫『日本語の力を鍛える「古典」の授業』明治図書、2010年。植松雅美『小学校国語 みんなで親しむ「伝統的な言語文化」—作品のイメージを育む授業づくり』東洋館出版社、2011年。花田修一『昔話・神話伝承を中心とした学習指導事例集(伝統的な言語文化の学習指導事例集1)』『ことわざ・故事成語・慣用句を中心と

した学習指導事例集（伝統的な言語文化の学習指導事例集2）』『古文・漢文を中心とした学習指導事例集（伝統的な言語文化の学習指導事例集3）』『詩歌・唱歌・芸能を中心とした学習指導事例集（伝統的な言語文化の学習指導事例集4）』明治図書、2011年。渡辺春美『小学校国語科 教室熱中!「伝統的な言語文化」の言語活動アイデアBOOK』明治図書、2012年。水戸部修治『「単元を貫く言語活動」を位置付けた小学校国語科「伝統的な言語文化」の授業パーフェクトガイド』明治図書、2015年 等、多数出版されている。

- 11) 石塚 修『小学校知っておきたい古典名作ライブラリー32選—豊かな〈伝統的な言語文化〉の授業づくり—』明治図書、2009年。
- 12) 文部科学省『小学校学習指導要領解説 国語編』2017年、25頁。
- 13) 注11) 51頁・88頁・126頁。
- 14) 文部科学省「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の制定並びに幼稚園教育要領 の全部を改正する告示、小学校学習指導要領の全部を改正する告示及び 中学校学習指導要領の全部を改正する告示等の公示について（通知）平成29年3月31日」2017年、4頁。

参考文献

- 石塚 修編著『小学校知っておきたい古典名作ライブラリー32選—豊かな〈伝統的な言語文化〉の授業づくり—』明治図書、2009年。
- 加藤直志「小学校国語教科書における古典教材：学習指導要領改訂を受けて」『名古屋大学教育学部附属 中高等学校紀要』57、2013年。
- 国立教育政策研究所「平成17年度高等学校教育課程実施状況調査 II 質問紙調査集計結果 2 国語総合」2007年。
- http://www.nier.go.jp/kaihatsu/katei_h17_h/h17_h/result_q115.pdf より採取（2017年4月30日）
- 中央教育審議会「次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめ（素案）のポイント」資料1、教育課程企画特別部会、2016年。
- http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/siryo/_icsFiles/afldfile/2016/08/02/1375316_1_1.pdf より採取（2016年12月15日）
- 中央教育審議会「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」（第2部）初等中等教育分科会教育課程部会、2016年。
- http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afldfile/2016/09/09/1377021_1_3.pdf より採取（2016年12月15日）
- 文部科学省『小学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版社 2008年。
- 文部科学省「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の制定並びに幼稚園教育要領 の全部を改正する告示、小学校学習指導要領の全部を改正する告示及び 中学校学習指導要領の全部を改正する告示等

小学校国語科における伝統的な言語文化教育の現状と課題

の公示について（通知）平成29年3月31日」2017年。

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afeldfile/2017/05/12/1384661_1_1.pdf より採取（2017年4月30日）

文部科学省『小学校学習指導要領』2017年。

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afeldfile/2017/05/12/1384661_4_2.pdf より採取（2017年4月30日）

文部科学省『小学校学習指導要領解説 国語編』2017年。

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afeldfile/2017/10/13/1387017_2.pdf より採取（2017年7月25日）

文部科学省・国立教育政策研究所『平成25年度全国学力・学習状況調査報告書質問紙調査』2013年。

<https://www.nier.go.jp/13chousakekkahoukoku/data/research-report/13-questionnaire.pdf> より採取（2017年4月30日）

（にしかわ・まなぶ 短期大学部准教授）